

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	1188429
幼稚園名	光塩日野幼稚園

1. 活動のテーマ

【野菜の栽培】

＜テーマの設定理由＞

園内の畑を活用し、毎年栽培活動を行っている。様々な種類の野菜を植えたり、水やり、収穫を通して、野菜について知り、植物や食についての興味を深めた。

＜活動のための環境整備＞

園内の畑とプランターを活用し、各学年で育てる野菜を決めて、野菜を育てることの難しさ、植物や食に対する興味を深め、子どもたちが収穫の喜びを味わうことができた。
職員が畑を耕し、園児が野菜を育てることができる環境を整えた。
鳥や虫に野菜を食べられてしまうことを防ぐため、畑の周りに細かい網を設置した。
野菜に関する絵本や紙芝居を用意し、事前学習・事後学習に繋げた。

2. 活動スケジュール

	実施学年	育てる野菜	内容
2024年4月	年長	(・畑の準備)	・雑草を抜き、土を耕し畝を作った。
	年中		
	年少		
2024年5月	年長	・かぼちゃ、ナス、トマト	・苗を植え、水やりを行い成長を観察する。
	年中	・ポップコーントウモロコシ	
	年少	・きゅうり	
2024年6月	年長	・かぼちゃ、ナス、トマト	・水やりを行い成長を観察した。
	年中	・ポップコーントウモロコシ	・プランターに土を入れネットを張り、苗を植え、水やりをした。
		・オカワカメ	
	年少	・きゅうり	・水やりを行い成長を観察した。
2024年7月	年長	・ナス、トマト	・収穫して、給食の食材として 利用して食べた。(野菜スープ)
		・かぼちゃ	・畑からプランターに移動するも不作。収穫できなかった。
	年中	・ポップコーントウモロコシ	・不作、動物による食害。収穫できなかった。
		・オカワカメ	・収穫して、給食の食材として 利用して食べた。(サラダ)
	年少	・きゅうり	
2024年8月			
2024年9 月	年長	・小カブ	・畑を整え、種まきをした。
	年少	・かぶ、大根	
2024年10月	年長	・小カブ	・水やりを行い成長を観察した。
	年少	・かぶ、大根	
2024年11月	年長	・小カブ	・収穫して、給食の食材として 利用して食べた。
	年少	・かぶ、大根	
2024年12月			
2025年1月・2月・3月	職員	(・次年度の畑の準備)	

3. 探究活動の実践

【5歳児クラス 年長 ばら組】

＜活動内容＞

- ・野菜（かぼちゃ、ナス、トマト、小カブ）を育て、収穫をし、給食の献立に入れてもらった。
- ・栽培を通して、野菜の育ち方を知ったり、収穫した野菜を給食で食べる楽しみを経験した。

＜活動のための工夫＞

- ・クラスの活動として畑に行き、草取りや水やりをする中で、野菜の育ちで気づき合ったことを伝えたり、共感できるよう、保育者が子どもたちに声掛けした。
- ・クラスの中で、子どもたちの関心が薄れてきた時には、「畑の野菜育っているかな。見に行こうよ」と声を掛けたが、草取りや水やりは、子どもが必要性に気付くことに重心をおき、自分からやってみようとするのを大切にしていた。



【4歳児クラス 年中 ゆり組】

＜活動内容＞

- ・畑では、ポップコーントウモロコシの栽培を、プランターでグリーンカーテンとしての役目も果たすおかわかめの栽培を行った。

＜活動のための工夫＞

- ・プランターへの土入れ、株植え、水やりなど、グループを作って栽培したことで、子ども同士が声を掛け合って、協力し合えるようにした。
- ・子どもたちが自ら畑に足を運べるように、日常の会話の中に気付きになるような話を盛り込み、気付き、動けるようにしていった。



【3歳児クラス 年少 ほし組】

＜活動内容＞

- ・種や苗を園内の畑に植えて、野菜（きゅうり、かぶ、大根）の栽培を行った。
- ・友達と順番に水やりをしたり、雑草取りをした。野菜の成長を観察し、収穫の実りを喜びあった。

＜活動のための工夫＞

- ・毎日畑に行くように声を掛け、興味を持たせるようにした。共同作業の機会を増やして、子ども同士の関りを促した。
- ・育てている野菜以外にも、その季節の野菜に興味を持たせるように声掛けをした。



4. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気付き＞

【5歳児クラス 年長 ばら組】

- ・給食で収穫した野菜を食べる時に、野菜を育てた事や収穫した事を話題にして、子どもたちと一緒に振り返った。
- ・カブは、給食でスープにトッピングできるように用意してくれたため、子どもたちは収穫した野菜を食べる実感を強く感じることができた。

【4歳児クラス 年中 ゆり組】

- ・子どもたちが、おかわかめのグリーンカーテンの効果に気付き、涼しさを感じ、近くで遊ぶ姿が見られた。
- ・ポップコーントウモロコシが収穫できなかったことで、育てる難しさを子どもたちと振り返った。実際に育てていたら収穫できていた物を見せることで、次の活動への意欲に繋げることができた。

【3歳児クラス 年少 ほし組】

- ・途中、実った野菜を鳥や虫に食べられてしまったので、子ども達と話し合い、食べられてしまわないように細かい網で畑を囲う様にした。
- ・同じ畑の中で、他学年で育てている野菜についても、子どもたちがその成長具合を共有できるように声掛けした。

【全体的な気付き】

- ・野菜が育ちやすい環境を整えるため、園内畑の土の入れ替えなど、土づくりにも工夫が必要。
畑整備のために、耕運機などの重機の整備を検討したい。
- ・野菜の栽培活動を通して、最初は土に触れること自体に興味を示していた子が、だんだんと植物の成長に目を向けるようになったり、特定の野菜に興味を示したりするなど、子どもたちの成長と興味関心の変化がうかがえた。
- ・共同作業を通して、友達と協力したり、助け合う姿を見ることができた。またそれぞれの意見を言い合ったり、役割分担する中で、社会性や協調性が育まれている様子が感じられた。
- ・野菜の栽培を通して、収穫できずに枯れてしまったり、鳥や虫に食べられてしまうなどの問題が起きたときに、それを解決するために自分たちで考える、問題解決能力の育成が促された。

以上